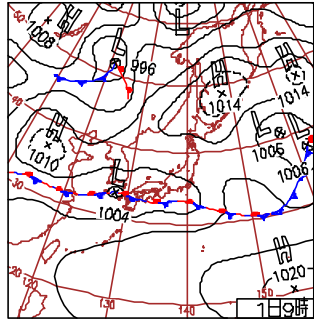


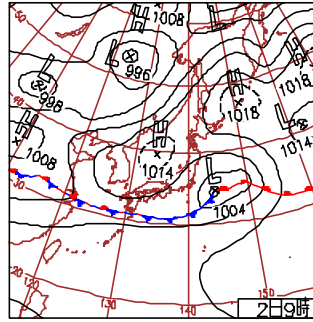
2003年7月

- ・3日～4日、静岡市で従来の1時間降水量の記録を越える猛烈な雨。
- ・18日～20日、九州から四国で断続的に猛烈な雨。福岡・熊本・鹿児島などで土砂・浸水災害が発生。
- ・29日～30日、鹿児島市で1時間に56mmの雨。市内で浸水害。

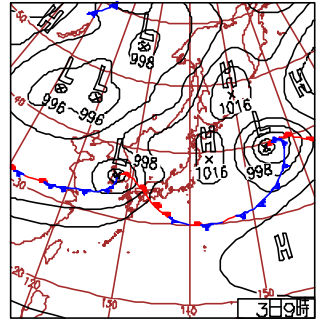
(気象庁予報部予報課)



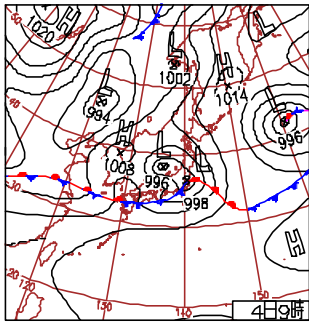
1日(火)九州北部で大雨
梅雨前線上の低気圧が東シナ海から東進し、九州～関東で雨。福岡・大分の一部では24時間150mmの大雨。北日本はオホーツク海高気圧の影響で低温傾向持続。



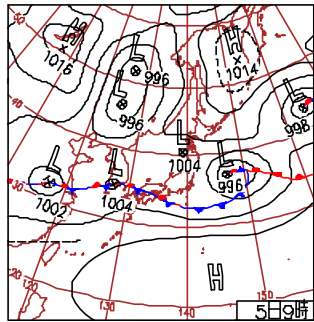
2日(水)梅雨の晴れ間
梅雨前線は南海上に離れ活動は弱まる。九州南部を除いて全国的に晴れ。中国・四国・近畿で日照時間が10時間以上。北日本を中心に気温は低め。東北の太平洋側で霧を観測。



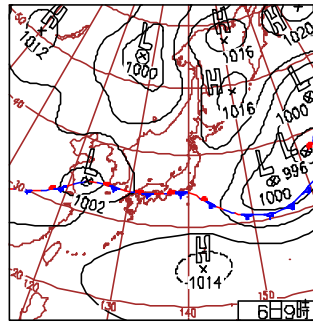
3日(木)九州・沖縄で真夏日
梅雨前線上の低気圧が日本海を東進し、西日本～関東で雨。北海道・九州・沖縄の一部では晴れた。気温は九州南部・沖縄で平年より高く、その他は低め。



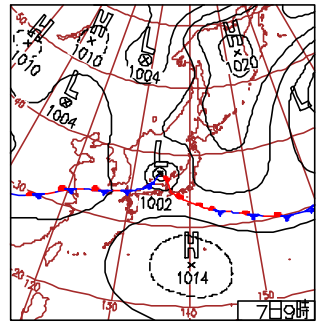
4日(金)静岡で記録的大雨
明け方前線の活動が活発化し、静岡113mm、天城山101mmの1時間降水量を観測。静岡で時間降水量の記録を更新。日中は日本海の低気圧の影響で北日本を中心に雨。



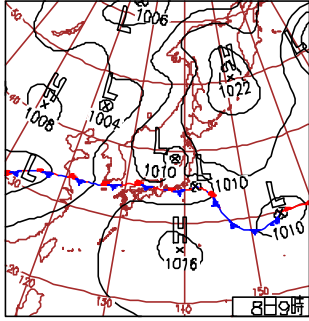
5日(土)油蟬各地で鳴き始める
前線は山陰～近畿に停滞。九州南部・沖縄は太平洋高気圧に覆われ広い範囲で今季1位の最高気温。秋田沖に低気圧が残り東北では所々で雨。関東は晴れ。



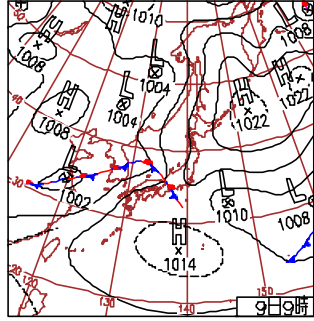
6日(日)気温差が20以上
梅雨前線が西日本に停滞。北日本ではオホーツク海高気圧に覆われ、気温が低く晴れ。九州以南では真夏日。根室と名瀬の最高気温はそれぞれ11.7と35.0、その差23.3。



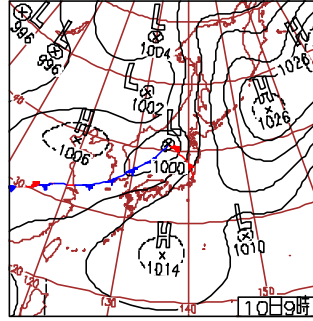
7日(月)能登空港閉港
梅雨前線上の低気圧が日本海を東進。中国地方の各地で40mm前後の短時間強雨。関東も雨。高気圧に覆われた北海道・九州南部・沖縄では晴れ。



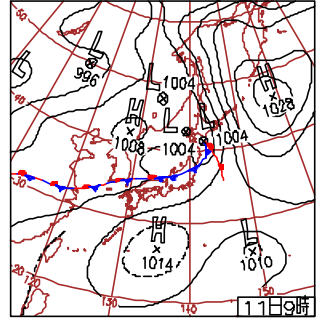
8日(火)北陸で日照不足
北陸地方は梅雨入り後、日照時間の少ない状態が続き、福井では平年の約1/3。九州北部～近畿では梅雨前線により短時間強雨。長崎の有川では1時間に54mmを観測。



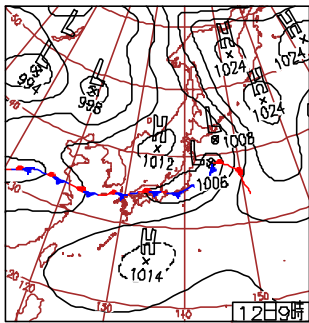
9日(水)前線をはさみ春と夏
梅雨前線が朝鮮半島まで北上し、西日本では軒並み真夏日。宮崎では35.4。北日本ではオホーツク海高気圧が強く、太平洋側を中心に15以下の所も。根室では14.1。



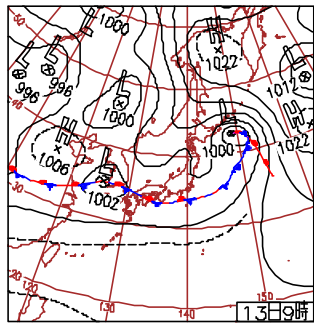
10日(木)東北地方を中心に大雨
日本海の低気圧と梅雨前線により、東日本と北日本の所々で大雨。日降水量は山形県の遊佐町で229mm、北海道のえりも町で224mm。静岡県東伊豆町では1時間降水量77mm。



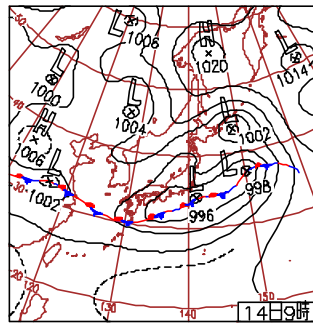
11日(金)各地日照不足情報
梅雨前線は日本海～東北部まで北上。関東～沖縄では軒並み真夏日。関東では晴れて午後には雷雨。北海道では短時間強雨と大雨。北日本～西日本で低温と日照不足続く。



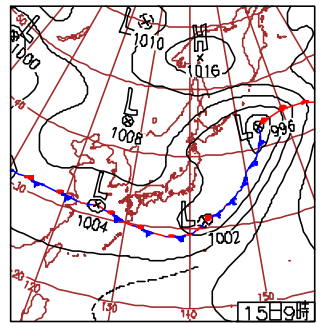
12日(土)九州北部で大雨
梅雨前線に近い九州北部は断続的に激しい雨。熊本で07時80mm、1時間降水量の記録を更新。関東地方は気温30を超え、夜は所々でわか雨。八王子で1時間61mmを観測。



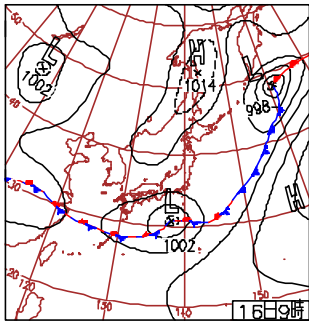
13日(日)西日本で雨
梅雨前線は東日本で八丈島付近まで南下、九州北部から四国・近畿では雨。九州南部・沖縄では真夏日が続く一方で、北海道東部では15以下の所が多い。



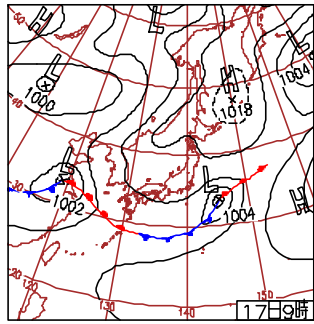
14日(月)全国的に気温低め
オホーツク海高気圧が張り出し、気温は南西諸島を除いて全国的に低い。関東では最高気温が平年より5以上低く5月上旬から中旬並。関東から西の太平洋側で雨



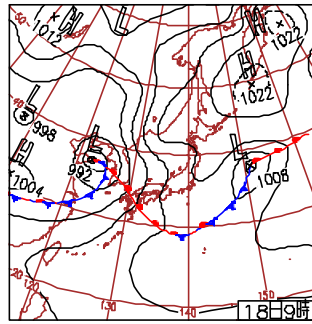
15日(火)曇り空続く
梅雨前線は日本の南海上に南下。九州南部、四国太平洋側で雨の他は全般に曇り。気温は沖縄を除き全国的に平年より3～5低く、6月並。岐阜ではサルスベリ開花。



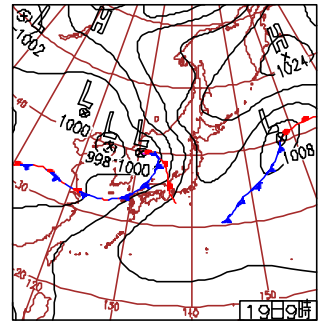
16日(水)西日本で快晴
梅雨前線は日本の南海上で停滞。北日本の上空を気圧の谷が通過。北海道は曇りや雨、関東・東北は日照も出るが所々で弱い雨。西日本は久しぶりに晴れて、快晴の所もあった。



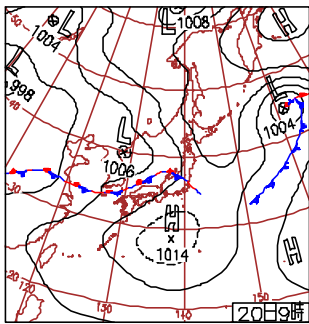
17日(木)台風第7号発生
オホーツク海の高気圧が西日本まで張り出し梅雨前線は北緯30度以南まで南下。全国的に梅雨の中休み。台風第7号がカロリン諸島付近で発生。



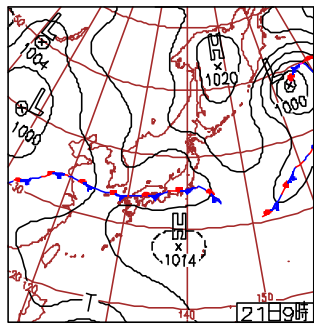
18日(金)台風第8号発生
梅雨前線が九州北部から日本の南海上に延び、西日本で激しい雨。日降水量は三重県尾鷲で190mm、高知県室戸市で239mm。北日本～東日本では低温と日照不足の状況が続く。



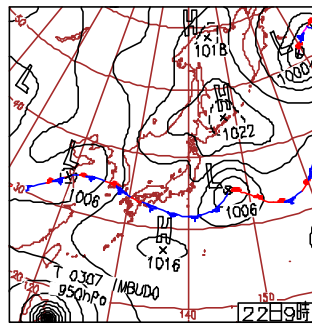
19日(土)九州～四国集中豪雨
九州北部で前線が活発化。太宰府市で1時間104mm。日降水量315mmは年間記録。徳島県蒲生田で日降水量401mm等、各地で猛烈な雨。福岡県で土石流と浸水被害。



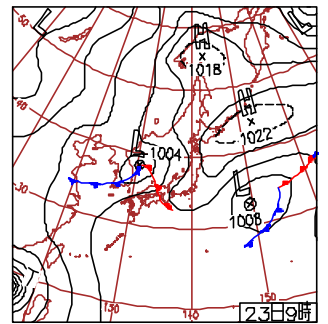
20日(日)九州で土砂災害
梅雨前線の影響で、九州は明け方にかけて局地的に激しい雨。02時に72mmを観測した熊本県水俣市で大規模な土石流が発生。鹿児島・長崎の土砂崩れによる被害を含め死者22名。



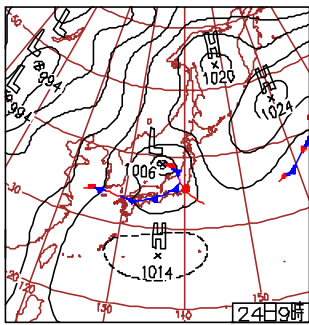
21日(月)新潟で大雨
梅雨前線は北九州から四国の南を通り東海まで南下し、西日本の雨は一段落。東日本では上層に寒気が残り断続的に強い雨。特に新潟では大雨警報が24時間近く継続。



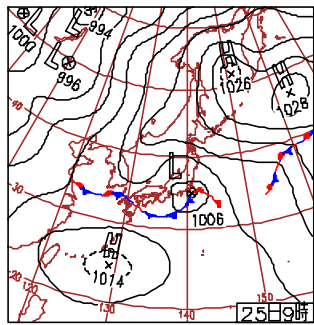
22日(火)九州南部梅雨明け
梅雨前線が九州北部から四国に延びる。前線の活動は弱く小康状態。九州以南では真夏日、関東の最高気温は5月中旬並。九州南部では平年より9日遅い梅雨明け。



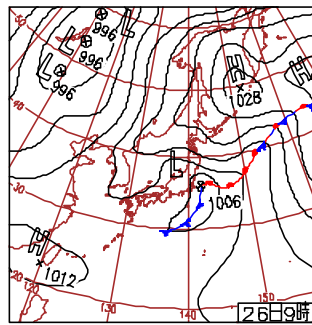
23日(水)梅雨寒の大暑
暖かく湿った空気が流入し、厳原では年間記録となる1時間114mmの雨を観測。東日本以北は上空に寒気が入り所々で4月中・下旬並の気温。福島は平年より12.1 低い。



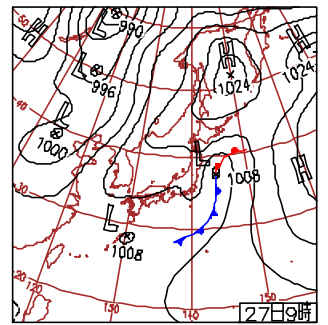
24日(木)各地で短時間強雨
梅雨前線の影響で九州各地で30mmを超える強い雨。伊豆大島で1時間降水量82mmと記録を更新。九州南部・沖縄以外は引き続き気温が低く、所によっては6月中・下旬並。



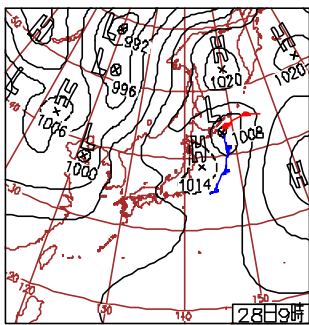
25日(金)梅雨前線弱まる
九州北部を除き梅雨前線は不活発。上空の強い寒気により、山陰～関東では1時間30mm程度にわか雨。北海道や沖縄は晴れ。



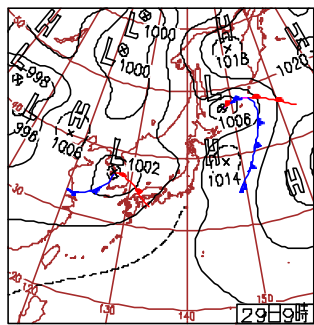
26日(土)震度6強の地震
茨城沖の低気圧の影響で、東北の太平洋側では大雨。西日本では概ね晴れて、九州北部・四国・中国・近畿・東海地方では梅雨明け。宮城県で震度6強の地震。



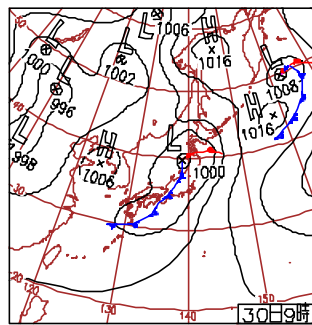
27日(日)北陸で梅雨明け
前線は日本から離れ、東・西日本では概ね晴れ。気温は全国的に低く、真夏日は南西諸島と九州の一部のみ。南西諸島は雨で、与那国島では1時間降水量66.5mmを観測。



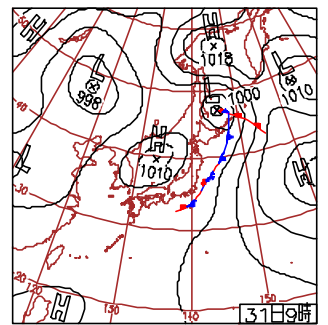
28日(月)宮城県で余震続く
前線は日本の東海上へ離れ全国的に曇りや晴れ。関東は晴れた所もあるが気温は平年より低く、東京の最低気温は6月上旬並。宮城県で震度5弱の地震、有感地震は42回。



29日(火)宮城地震復旧進む
日本海を東進する前線を伴った低気圧の影響で、全国的に雨や曇り。九州北部では一時的に雷を伴う強い雨を観測。東北は曇りで宮城県地震余震続くも復旧作業急ピッチ



30日(水)米や野菜等に影響か？
梅雨前線が本州の南の海上に停滞。日本海側で晴れたが、太平洋側で曇りの所多く、特に関東から北の太平洋側では所により雨。各地梅雨明け遅れ、米や野菜に影響ありそう。



31日(木)関東以西、真夏日戻る
日本海の高気圧により西日本では晴れる。関東でも晴れ間広がり、東京では19日ぶり、7月になって3日目の真夏日。東京で7月に熱帯夜を観測しなかったのは21年ぶり。